

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
平成30年(2018年)
12月6日
発行責任: 校長 石井武

★2018 人権フェスタ「ひまわり」



「人権に関する取り組み」とともに「伝えあう力・聴く力」が大きく向上!

12月4日(火) 4~6限、体育館において各学年の人権学習や生徒会の取り組みの総合発表会である「人権フェスタ・ひまわり」を開催しました。

生徒会からは、みんなで集めたペットボトルキャップで制作した「ひまわりんの夢バトン」壁画を舞台上で紹介しました。「ひまわり」の目的である【夢バトン】に込められた「はみご(仲間はずれ、いじめ、差別)をなくそう」という思いを一人ひとりがしっかり考え、先輩から後輩へ継承していこう!という五中の良き伝統と誇りを感じました。さっそく玄関に飾られたので、じっくり鑑賞してくださいね。

1年生は、これまでの行事等の取り組みとともに11月の「ボランティア体験学習」で6つのコース(車椅子・ア

イマスク・手話・点字・インスタントシニア・リパティ大阪)で学んださまざまな人権問題やみんなで話し合ったことなどについて、ていねいに報告してくれました。体験を通じて「ともに生きるとは・・・」というとても大事なテーマを深く考えてきたことがしっかり伝わってきました。また、学年全員が手話をしながら大きな声で、気持ちを込めて合唱した「Believe」には、心から感動させてもらいました。67期生の大きな成長が感じ取れました。

2年生からは、学年目標や主な取り組みに続き、11月の「職場体験学習」で学んだことや感じたことについての報告でした。当日は41の事業所に分かれて活動しましたが、そのうちの8つの事業所が代表として発表してくれました。「労働」を実際に体験することによって「働く」意味を深く考え、各事業所で働いておられる方々とのふれあいを通して、あいさつや言葉づかい、時間を守ることなどの「社会人としてのマナー」を学んできたことが充分伝わってきました。

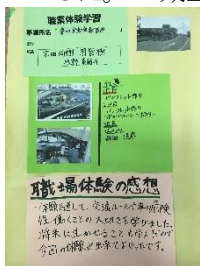
また、体育館に掲示された壁新聞からもそれぞれのグループがしっかり取り組んできたことがうかがえました。66期生一人ひとりの「行き方発見」が「生き方」や「進路」選択につながっていくことを大いに期待したいと思います。

そして3年生、それぞれのクラスの良いところや課題、学年として卒業に向けてどう進んでいくのかという大きなテーマについてみんなで考え、クラスを表す漢字、学年がめざす漢字、それぞれ3つずつを決め、これまでの取り組みとあわせて全体に伝える文章をつくってきました。一人ひとりのスケッチブックに示された「形」は、クラス全員の気持ちがそろわないと一つの「文字」として表現できません。

65期生のみなさんは「文字(漢字)」と「言葉」で見事に表現し、進路や仲間、つながることや思いやりの心など、気持ちを込めて伝えてくれました。素晴らしい発表でした!さすが3年生、さすが65期生!と大きな感動をもらえました。今回の取り組みを忘れることなく進路そして卒業に向けて、突き進んでいってほしいと思います。発表の全文を右面と裏面に掲載させていただきます。

フィナーレの3学年全体合唱「未来につなげる夢バトン」はよく声が出て圧巻でした。みんなの気持ちがひとつになっていたと思います。また、サプライズ企画の「先輩からのビデオメッセージ」では、教師、ブライダルフラワーコーディネーター、看護師、プロ野球選手(大阪桐蔭・藤原君)それぞれが夢をめざす想いを熱く伝えてくれました。大いに励みになったと思います。

五中生全員の「伝えあう力」や「しっかり聴く力」が向上したからこそ、今回の「人権フェスタ・ひまわり」が成功したのだと思います。参観された保護者からも「とても声が出ていて素晴らしかった」「思いが詰まった言葉を聞けてとても感動しました」「発表を聞く態度が大変良かった」などのおほめの言葉をたくさんいただきました。みなさんの気持ちと頑張りは多くの人に伝わっていますよ!



65期3年生 ひまわり 学年発表

私たち65期生は、五中を卒業するまで残り3ヶ月となりました。

卒業に向けて、クラスや学年で65期のいいところ、65期の目指す姿について話し合いを行いました。そして、その想いを漢字で表現しました。 みなさん、聞いてください。

【1組】

『心臓』

私たち人間にとって、心臓は一番なくてはならないもの。
心臓のように、私たちにとって1組はなくてはならない存在。

1組があることで、

『活動の力が湧いてくる。』『学校に来るのが楽しみになる。』

『熱く燃え上がるクラスでありたい。』



『風』

今、私たちは進路という向かい風と立ち向かっています。

勉強していると急に不安になったり、勉強してもなかなか伸びなかったり、親に志望校を反対されたり、大好きな仲間と離れてしまうと思うとさびしくなったりします。全員が一緒に風を起こせば、向かい風を追い風に変える台風になれる。

止まりそうになっても、止まることのない風のようにどんなことにも立ち向かいたい。

『みんなで風をおこしていこう。』『風のように成長していこう。』

しんどいときもみんなで励まし合いながら、

『前を向いて進んでいきたい。』

『和』

和みのあるクラス。修学旅行のクラスミーティングでは、素直に本音で話すことでお互いのことをよく知れた。体育大会の全員リレーでは、一人ひとりが全力を尽くし、学年競技のラブブリッジでは男女でアドバイスをし合い、お互いを高め合えた。仲がよく、笑いあえる、和やかさ。思いやりと気遣いをもって、しんどくなったときに互いに助け合える和やかなクラス。いろいろな事情があり、学校に來れていない仲間も一緒に学校に來られるような、

『和やかなクラスにしたい。』

【2組】

『木』

高校へ進学する人、社会へ出て働く人、みんな木の枝のようにバラバラになっていく。卒業してから全員そろって集まることはもうないかもしれないけれど、振り返ったときに根元はみんな一緒だと思えるクラスになりたい。

そのために、今クラスのみんなが集まれる時間を全員で過ごしたい。

すべての思い出が、将来の自分を支える木の幹のようになることを願いたい。

だから苦しい時も、みんなで支えあって

『頑張っていこう。』



『実』

学校でみんなと生活できる時間はあと残りわずか。このわずかな時間が、三年間で最も思い出に残る中身のつまった時間にしていきたい。卒業してから高校へ進学する人、就職する人、みんなが充実した新しい生活を送れるように、今勉強や私生活、学校生活でできることを考えて行動する。

そして、自分が決めた目標が、

『実りますように。』

『輪』

体育大会のラブブリッジや全員リレーで、みんながお互いのことを考えて一つにつながる事ができた。学校生活でもクラスの一部分が行動するのではなく、みんなが一人ひとりのことを考えて行動する。これから、進路のことでみんなが自分のことだけを考えてバラバラになってしまうかもしれないけれど、そういう時こそ、みんなで教え合ったり、助け合ったりして、一つの輪になる。

この輪がどんどん大きくなるように、全員でもっと太く、もっと強い輪を

3年2組で『作っていこう。』

【3組】

私たちには感謝を伝えたい人がいます。担任のずっきーこと、鈴木先生です。

『鈴』

ずっきーは一緒に楽しむだけではなく、常に私たちのことを想って叱ってくれました。私たちと同じ目線で向き合ってくれます。ずっきーのおかげで勉強へのやる気が出たり、クラスが盛り上がりました。

今までの、『ありがとうを込めて』

鈴木先生の「鈴」の漢字をクラスの漢字の一つにしました。



『笑』

進路の不安があって、しんどいときも笑わせてくれるクラス。面白すぎて笑わずにはいられない。授業中のリアクションが良い。修学旅行のクラスミーティングのときの笑わせ大会で、みんなの仲が深まった。

これからもみんな笑顔で生活できるようにしたい！

卒業しても、

『笑ってつながりあえるクラスでいたい。』

『最高』

応援旗を毎日男女仲良く塗りました。工夫してたくさん色を作り、1年生のときより、こだわりを持って作ることができました。そのおかげで応援旗の金賞をもらえました。怪我をしている人もいたけれど、みんなの応援のおかげで、最後まで気持ちよく走りきることができました。

体育大会のラブブリッジで負けたけど、一生懸命練習した成果が出せて最高だった。全員リレーで逆転した瞬間、感動して最高だった。

最高のクラスでよかった。

『最高の団結力！』

【学年】

『輝』

目標に向かって進んでいる人

頑張っている人

自信に満ち溢れている人

笑顔がたえない人

卒業まで、誰もがよかったって思えるくらい、

『キラキラ輝いていこう。』



『信』

今までも、これからも、できたこともできなかったこともたくさんあるし、65期生の課題はまだまだあるけれど、みんなが信じ合える仲間であるように！

卒業しても、この65期でよかったと心の底から思えるように、一日一日仲間を大切に、

『安全に楽しく過ごしたい！』

『華』

華のある学年。華のある卒業式にしたい。

花のように開花していこう！

『最後にきれいな花になる。』

まだ、私たちにはできていないところもあります。けれど、卒業まで、このクラス、この学年の仲間と共に前に向かって進んでいきたいと思えます。

1・2年生のみなさん、先生方、地域みなさん、保護者のみなさん、卒業までよろしくお願いします。

ありがとうございました。

『ありがとうございました。』

